

SNS利用啓発に力

県選管 若者に投票訴え

参院選 にくい 2019

県選管は、今夏の参院選から会員制交流サイト(SNS)を利用した啓発活動に力を注ぐ。投票率の低い二十代の若者に向け、選挙に関する情報を発信。投票率の向上を狙う。

県選管によると、これまで



看板を掲げる県選管の金井孝委員長(県庁で)

でもフェイスブックを使うという。そこで、ツイッターで情報発信していたが、「発信力が弱かった(担当者)」。ユーブといった若者が触れ

やすいものを活用して投票を呼び掛ける。具体的な内容は今後詰めていく。

背景は、低迷する若者の投票率。十八歳選挙権が導入された二〇一六年夏の参院選では、県内の十八、十九歳の投票率は42・19%(全体56・50%)だった。一七年の衆院選の県内小選挙区での投票率は39・91%(同55・92%)。また、一七年の二十代の投票率は抽出で37・79%と、十八、十九歳の投票率をさらに下回っていた。

担当者は「若い世代が興味を持てるようにしたい」と語った。

よろず相談所開設

七日、選挙よろず相談所が県庁内にある県選管に開設された。投票票日と想定

した七月二十一日まで、午前八時半から午後五時十五分まで、職員が選挙のルールなどの問い合わせに応じる。☎0776-2010357 (谷出知謙)



2019 参院選

予定者説明会 2陣営が出席

今夏の参院選の立候補予定者説明会が17日、県庁で開かれた。これまでに福井選挙区(改選数1)に立候補を表明している自民党現職で再選を目指す滝波宏文氏(47)＝公明推薦＝と、共産党新顔で野党統一候補の山田和雄氏(51)の2陣営の関係者が出席した。

県選管の職員が、選挙の事務日程や立候補の届け出に必要な書類の記載方法、ポスター掲示場の数、選挙運動での留意事項などを説明。各放送局から政見・経歴放送についての説明もあった。

(堀川敬部)

投票用紙の梱包開始 県庁

七月四日公示、同二十一日投票が想定される参院選に向けて、県選管は十八日、各市町に送る投票用紙の梱包作業を県庁で始めた。この日は職員十二人が午前九時半から午後五時まで作業を進めた。今春の統一

七月四日公示、同二十一日投票が想定される参院選に向けて、県選管は十八日、各市町に送る投票用紙の梱包作業を県庁で始めた。この日は職員十二人が午前九時半から午後五時まで作業を進めた。今春の統一

地方選に合わせて集計機を導入。投票用紙を集計機で数えて箱に詰めていく。梱包する用紙は計百三十六万九千五百七十枚。点字投票用紙や船員不在者投票用紙もある。

梱包作業は二、三日で終わる予定で、その後各市町に投票用紙を発送する。

(藤共生)

集計機で投票用紙を数える職員(県庁)

若者に投票啓発 HPなど活用を

県、県内市町選管は7日、夏の参院選に向けた合同会議を県庁で開いた。写真裏。各選管の委員長や書記長ら約40人が出席し、選挙事務の適正な管理・執行や、若者への投票の啓発に努めることを確認した。

県選管の金井孝委員長は「統一地方選で福井県は全国的にかなり高い投票率となったが、まだ十分ではない」とあいさつし、期日前投票の活



用による投票率アップなどに力をつける求めた。

この後、7月4日の公示、21日投票票を想定した事務日程や留意事項などを報告。県

選管の担当者は、投票率アップに向け「ホームページなどの効果的な活用で、投票に必要な方法の周知を図ってほしい」と呼び掛けた。また、知事選時に介護老人福祉施設で不正事件が発覚した不在者投票については「外部立会人の選定が適正に進むように対応してほしい」と述べた。

今後、県選管は17日に立候補予定者説明会、19日に不在者投票の指定先となっている病院への説明会を順次開き、21日に投票用紙を市町選管に発送する。

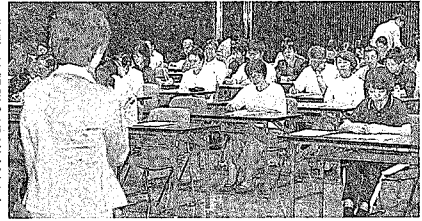
(桂知之)

外部立会人原則設置を

不在者投票 県選管が要請

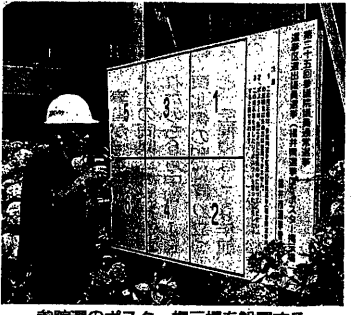
偽造事件受け

夏の参院選を前に、県選管は、不正防止のため、原則として外部立会人を最低1人配置するよう、県内各市区町村に要請した。この日の説明会には、施設担当者約130人が出席。県選管の小林弥生書記長は、説明会を開いた。先の知事選で投票偽造事件が発生したことを受けて、外部立会人を設置しては防げた」と強調。その上で、今後行われる国政選挙や地方選挙の不在者投票では、原則として市町選管が選定した外部立会人を最低1人選任するよう求めた。県選管の担当者、外部立会人の費用を県に請求できることなど、制



県選管が病院や福祉施設を対象に開いた不在者投票説明会。19日、福井市の県生活学習館

6月21日 毎日新聞



参院選のポスター掲示場を設置する看板業者—福井市役所で

福井市選管
ポスター掲示場設置
28日までに市内6カ所
今夏の参院選福井選挙区(改選数)に向けて福井市選挙管理

部立会人を置けなかった大野市の介護老人福祉施設で、施設長らが勝手に入所者の投票をしたとして、公選法違反投票偽造の疑いで逮捕された。県選管によると、2016年の前回参院選では外部立会人を置いたのは164施設のうち27施設。投票者数37万1373人の0.6%に当たる2282人が施設で投票した。(野田勉)

6月22日 福井新聞

投票用紙 市町に発送



投票用紙が入った段ボールをトラックの荷台に積み込む県選管職員=21日、県庁

7月4日公示、21日投票開票が有力視される参院選に向け県選管は21日、投票用紙など関係書類を県内17市町に発送した。書類は、選挙区と比例代表の投票用紙それぞれ68万1900枚や投票用封筒4万6500枚など全60種類、148万1077枚。

県選管の職員約20人が県庁正面前に集まり、書類の入った段ボール112箱と啓発グッズが入った50箱をトラック3台に次々と積み込んだ。出発式では県選管の小林弥生書記長が「大切な投票用紙なので細心の注意を払って確実に届けてほしい」とあいさつ。職員がトラックに1人ずつ同乗して出発した。

県内の選挙人名簿登録者数は3日現在、男性31万2482人、女性33万6330人の計64万8812人。(野田勉)

委員会は20日、ポスター掲示場の設置を始めた。28日までに市内684カ所に設置する。同選管は参院選を7月4日公示、21日投票開票と想定して準備を進めている。この日は、福井市役所前で委託を受けた看板業者が縦0.91メートル、横1.82メートルの6区画ある樹脂製の板を設置した。参院選を巡っては自民現職で経済産業政務官の滝波宏文氏(47)と野党統一候補で共産新人の山田和雄氏(41)の2人が立候補の準備を進めている。(塚本恒)

7月4日 朝日新聞

選挙人名簿登録者数

(3日現在、県選管発表)

| | 男性 | | 計 |
|-------|---------|---------|---------|
| | 男性 | 女性 | |
| 福井市 | 105,023 | 113,917 | 218,940 |
| 井川市 | 26,950 | 27,864 | 54,814 |
| 敦賀市 | 12,012 | 12,659 | 24,671 |
| 小浜市 | 13,522 | 14,938 | 28,460 |
| 大野市 | 9,441 | 10,483 | 19,924 |
| 勝山市 | 27,392 | 29,171 | 56,563 |
| 鯖江市 | 11,293 | 12,716 | 24,009 |
| あま市 | 32,290 | 34,019 | 66,309 |
| 越前市 | 36,411 | 39,321 | 75,732 |
| 坂井市 | 274,334 | 295,088 | 569,422 |
| 吉田郡 | 7,527 | 8,081 | 15,608 |
| 永平町 | 7,527 | 8,081 | 15,608 |
| 今池町 | 1,098 | 1,226 | 2,324 |
| 南越前町 | 1,098 | 1,226 | 2,324 |
| 丹波町 | 4,335 | 4,739 | 9,074 |
| 南越前町 | 4,335 | 4,739 | 9,074 |
| 丹波町 | 8,793 | 9,457 | 18,250 |
| 三友町 | 8,793 | 9,457 | 18,250 |
| 三方町 | 3,993 | 4,232 | 8,225 |
| 美浜町 | 3,993 | 4,232 | 8,225 |
| 高浜町 | 7,767 | 7,794 | 15,561 |
| 高浜町 | 4,383 | 4,348 | 8,731 |
| おおたか町 | 3,384 | 3,446 | 6,830 |
| 三方町 | 6,028 | 6,559 | 12,587 |
| 若狭郡 | 6,028 | 6,559 | 12,587 |
| 計 | 313,875 | 337,176 | 651,051 |

※在外選挙人名簿登録者分は除く

県内有権者数は65万1051人

県選管は3日現在の参院選の選挙人名簿登録者数(在外選挙人名簿分は除く)を発表した。県全体で65万1051人となり、前回参院選の選挙人名簿登録者数(2016年6月21日時点)より7961人減。内訳は男性31万3875人、女性33万7176人。(福富智代)

立候補受理手順を確認

きょう公示 県選管がリハーサル

参院選 2019

参院選21日投票日の公示を翌日に控えた3日、立候補の届け出を受理する県選管職員ら約20人が、県庁でリハーサルをした。県選管の金井亭委員長は「自分たちの代表者を選ぶ重要な選挙。慎重に一票を投じられるようお願いします」との談話を発表した。



立候補届の受け付け手順を確認する県選管職員たち
—福井市大手3の県庁で

立候補の届け出は4日午前8時半〜午後5時、県庁地下1階の正庁で受け付ける。また、県選管は登録基準日(3日)現在の選挙人名簿登録者数を発表した。男女・市町別の人数は「選挙の通り」。

【大森治幸】

立候補の届け出は4日午前8時半〜午後5時、県庁地下1階の正庁で受け付ける。また、県選管は登録基準日(3日)現在の選挙人名簿登録者数を発表した。男女・市町別の人数は「選挙の通り」。

【大森治幸】

きょうから期日前投票

SC含め県内49カ所設置

参院選の期日前投票が5日、ショッピングセンター、スーパーに始まる。投票所は県内の市役所、加え、高校で初めて丹生高に所や町役場、福井市内のショッピングセンターに設置する。

市役所、町役場などの公共施設と学校以外の投票所は、西武福井店、アピタ福井店、パロー新田塚店、エルパ、パリオ、ベル。一部を除き、同日から投票票日前日の20日まで受け付ける。受付時間は午前8時半〜午後8時。

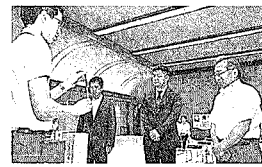
県選管は「投票日は夏休みに入っており、レジャーの予定がある人もいると思う。期日前投票を有効活用し、1票を投じてほしい」としている。

2016年の参院選は投票者数37万1439人のうち、約32・1%に当たる11万9428人が期日前投票した。

(牧野将寛)

3陣営が抽選 届け出順決定

県庁で受け付け



県選管職員による抽選を見守る3陣営の代理人ら
=4日、県庁正庁

参院選福井選挙区の立候補届け出は4日、県庁正庁で行われた。共産党新人の山田和雄氏(52)、諸派新人で政治団体「NHKから国民を守る党」の嶋谷昌美氏(48)、自民党現職の滝波宏文氏(47)の順となった。

受け付け開始の午前8時半までに本人や代理人が到着。届け出を決める抽選を見守った。届け出の書類を提出し、受理されると、各候補の代理人らは選挙事務所の標札や運動員の腕章など公選法で定められた選挙の「七つ道具」を受け取り、各陣営に向かった。

この日、午後5時までにほかに届け出はなく、締め切られた。

(高村友基)

人柄や政策見極め 貴重な1票投じて

21日の参院選投票日にあたり、県選管の金井亭委員長は談話を発表した。要旨は次の通り。

今回の選挙は、依然として厳しい社会経済情勢の中において、私たちの暮らしやわが国の今後の進路を決定する上で、極めて重要な意義を持っている。自分たちの代表者を選ぶ重要な選挙であることを十分認識し、候補者の人柄や政策の政策を見極め、自らの自由な意思と

判断によって、日本の将来を託すに必要十分な候補者を選び、政党に貴重な1票を投じよう切望する。

今回は、期日前投票所が商業施設や大学など県内49カ所に設置する。こうした制度を十分活用し、大切な1票を棄権することなく行使することを期待する。

県選管委員長談話

在外選挙人登録28人

県選管発表

県選管は4日、参院選公示日現在の在外選挙人名簿登録者数を発表した。男性143人、女性185人の計328人で、前回発表の6月3日時点に比べ4人増えた。市町別では福井市が126人と最も多く、45人の越前市と坂井市が続いている。(牧野将寛)



●鯖江市選管が期日前投票所に設置する顔出しパネル（鯖江市役所で） ●県選管が作製した啓発の顔出しパネル（県庁で）

顔出しパネル 投票呼びかけ

21日開票の参院選への投票率アップを図ろうと、県選管は商業施設の啓発活動で活用するため、有権者や子どもがパネルの前で写真が撮影できる顔出しパネルを初めて作製した。鯖江市選管でもインスタグラムで写真映えしそうな顔出しパネルを期日前投票所に置いており、投票の呼びかけに工夫を凝らしている。（有田真博 大川恒裕）



県と鯖江市選管 候補者気分、インスタ映え

県選管は、若者への投票の呼びかけと期日前投票の周知を図るコミュニケーションを兼ね、動画投稿サイト「YouTube」に投稿した。若者向けは和太鼓のリズムに合わせて「福井の未来のために投票を」と呼びかける内容。期日前投票について、投票日の21日に仕事や旅行と重なっても「期日前投票があるから大丈夫」と呼びかけている。それぞれ6秒の長さのものがある。今回初めてSNSやYouTubeの広域での活用した啓発活動が行われており、福井に住む若者や推進力があると、広告が妻が「めい」とが多くなるという。

参院選 2019

県選管のパネルは、縦約90センチ、横約100センチ。候補者求スター掲示板風のデザインで、3人分の候補の中で、一つだけ顔を出せるようになっている。自分で候補者になったような気分が味わえる。また、他には、明るい選挙推進協会のキャラクター「選挙のめいすいくん」と、当地版の「めいすいサウルス」が描かれている。それぞれ「期日前投票」の文字が描かれている。前でも投票できるんやきい」と呼びかけている。18日「アール・ブラザ教育」（敦賀市）でお披露目し、14日は「ジョージンタモール・エルバ（福井市）に設置する予定。そのほかにも各地の啓発で活用する。

鯖江市では6月30日の市議選の際、初めて作製した顔出しパネル（縦約90センチ、横約80センチ）を参院選でも使う。青色のフレームの下には、めいすいくん一家のイラストを、上部には「したま投票」の文字をあしらった市議選の顔出しパネルが53・07％、過去最低を更新しており、市選管は「今回の参院選では少しでも投票率を上げるために、様々な工夫を凝らしたい」と意気込む。

期日前投票初日1707人

1.5倍増、福井市は891人

県選管は6日、参院選の期日前投票が始まった五日の投票状況を発表した。初日は県内で千七百七人が投票。二〇一六年の前回参院選千八百八十人と比べて約

の四町以外の十二市町で増えた。福井市は約一・五倍の八百九十一人（前回参院選六百八十八人）、永平寺町は三・七倍の六十七人（同十八人）などとなった。期日前投票所は、前回参院選より四カ所増の四十九カ所である。一部施設を除き、千日まで開設し、時間は多くが午前八時半～午後八時、九日午後一二時には丹生高校（越前町）にも開設する。（清兼千鶴）



一日選管委員 学生2人委嘱

本多さんと坪田さん 候補者に要望書渡す

二十一日開票の参院選が公示され、県選管は五日、立候補者に選挙ルール（んせ）同日、県庁で県選管の金子亨委員長（が）が二人に委嘱状を手渡し、県内の学生二人を「一日選挙管理委員」に委嘱した。委嘱されたのは、県選管の選挙推進青年活動隊「C.E.P.T（セプト）」のメンバーで、県庁で選挙推進協議会の橋詰武宏会長（が）が「有権者が投票行為で自分の意思を示すことが大事。とくに若い人に政治に関心を示してもらえるようにお願いしたい」と激励した。本多さんは「明るくきれいな選挙の実現に向けて頑張っていく」と誓った。来年の誕生日で選挙権を得る坪田さんは「これを機会に政治をじっくり見ていきたい」と話した。その後、学生二人は候補者三人のうち、山田和雄さんと滝波宏文さんの各事務所へ選挙ルールの順守を求め、要望書と白バラを渡した。嶋谷昌美さんは事務所を訪れたため訪問しなかった。

嶋谷さんについて、金子委員長は「私が知る限り事務所のない候補者は初めて。いろいろな機会を捉えて明るい選挙を呼び掛けてほしい」と話した。（青木孝二）

県選管 選挙公報を発送



トラックに選挙公報を積み込む県職員(県庁で)

県選管は八日、二十二日
開票の参院選立候補者の
選挙公報を各市町に向けて
発送した。市町選管を通じ
て各世帯に配られる。
選挙公報は新聞大で、福

井選挙区用が二割、比例代
表用が八割。選挙区用には
三候補者の経歴や公約など
が書かれ、比例代表用には
五人が県庁前で手渡ししてト
ラックに次々と載せ、五百

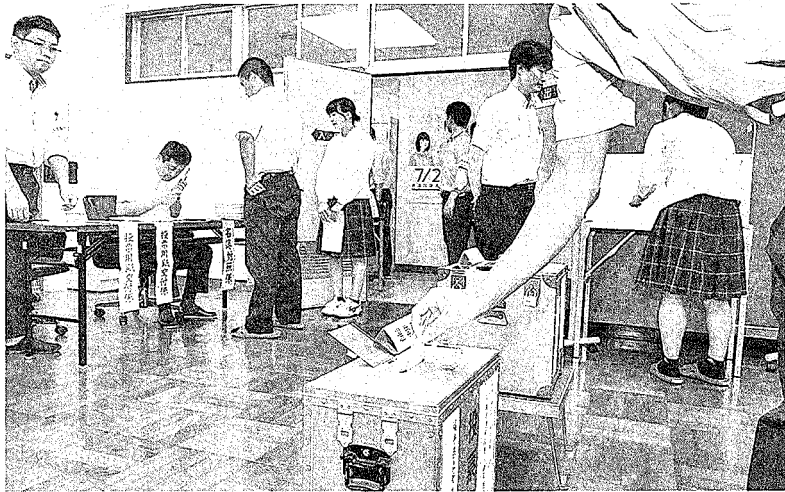
ている。ともに三十一万五
千五百部。
この日、県選管の職員十
五人が県庁前で手渡ししてト
ラックに次々と載せ、五百
世帯に届く予定。
(山口育江)

丹生高生 校内で一票

参院選 ふくい 2019

1日限定で期日前投票所

参院選(二十一日投票)で
高校生の投票率アップにつなげ
ようと、越前町選管は九日、同
町の丹生高校に一日限定の期日
前投票所を開設し、生徒が一票
を投じた。高校内に期日前投票
所を設置するのは県内初めて。
設置は県選管が越前町選管に
働き掛けて実現した。同校に通
う越前町在住の生徒を対象に一
時間開設し、生徒十三人が訪れ
た。三年の高松雄飛さん(ひ)は
「何か変わるかなと思って投票
した。学校など近くで投票でき
れば、投票率も上がるのではな
いか」と話した。
県選管によると二〇一七年の
衆院選の投票率は十八歳が50・
69%、十九歳が29・08%だっ
た。県選管の担当者は「これか
ら投票しやすい環境を整備し
たい」と話した。(中場賢一)

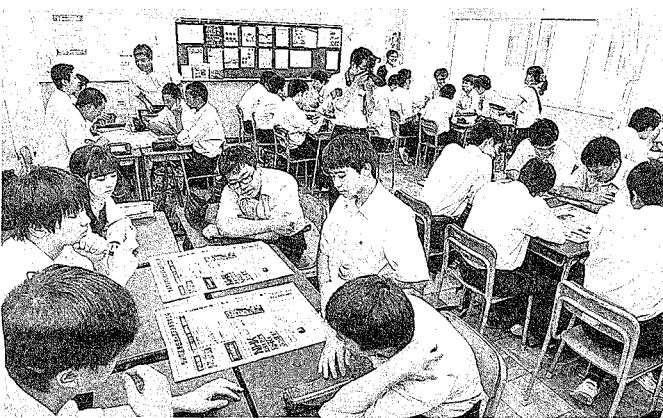


校内に設置された期日前投票所
で一票投じる生徒たち(越前
町の丹生高校で(山田陽撮影))

選挙公報読み模擬投票

科学技術高 政策、経歴など参考に

県選管は九日、福井市の
科学技術高校で、二十一日
投票の参院選立候補者の
選挙公報を使った模擬投票
を行った。二年生約百六十
人が、政策や経歴などを参
考に一票を投じた。
二〇三年度から、県内
の小・中・高校などで開く
「明るい選挙出前塾」とし
て実施。選挙期間中に実際
の選挙公報を使うのは初め
で、若者の選挙への関心
を高めようと企画した。
使用したのは、福井選挙
区用で、三候補者の公約や
経歴などが書かれている。
生徒らは五人ずつの班に分
かれて選挙公報を読み、候
補者の良い点を話し合っ
た。
身近な問題を掲げた候補
者には「生活に密着してい
る」「私たちのことを考え
ている」などの意見が出
た。文字の大きさや書き方
にも注目し「読みやすい」
「やりたいことが明確」と
話していた。意見を出し合
った後、実際の記入台と投
票箱を使って一人一人、票
を投じた。
機械システム科の岡田和
樹さん(と)は「選挙公報を
読んだのは初めて。候補者
の考えが分かり、選考参
考になる」と話していた。
(山口育江)



選挙公報を読み、模擬投票する候補者を絞り込む生
徒たち(福井市の科学技術高校で(山田陽撮影))

期日前投票 5日間で17万人

2019 参院選

県選管 中間状況

県選管は10日、参院選福井選挙区(改選数1)の期日前投票の中間状況を発表しました。県内の期日前投票所

5〜9日の5日間に受け付けた投票者数は1万7834人。選挙期間が今回より1日長かった2016年参院選の公示日翌日から6日間の期日前投票者数は2万1421人で、県選管に

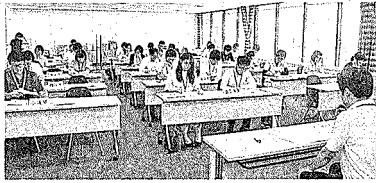
よると、今回も同じようなペースだという。市町別では福井市が最も多く、7938人だった。(福宮純代)

投開票速報 手順を確認

県選管、市町と会議

県選管は12日、参院選の投開票速報に関する市町との打ち合わせ会議を県庁で開いた。21日の投開票に向け、作業手順や注意点を確認した。

17市町の担当者約30人が出席。県選管の小林弥生書記長は「開票作業は選挙事務の中で最も大事な業務。ミスがないのが当然なので、緊張感を



参院選の投開票速報の手順について確認する市町の担当者=12日、県庁

持っていたら「ほい」とあいさつ。担当者が作業の詳細を説明した。

投開票当日は、各市町が当日有権者数や中間投票率、

開票中間速報などを決められた時間にファクスなどで県選管に報告。県選管がとりまとめ公表する。19日にリハーサルを行い、投開票日に備える。(牧野将寛)

期日前投票 4万7529人

10日間 有権者全体の7.3%

参院選(二十一日投開)から十四日までの十日間で、期日前投票は、開始一四万七千五百二十九人とな

参院選 2019 小さい

り、有権者全体の7.3%だった。県選管が十五日、発表した。

参院選投票行こう 買い物客りにPR

福井で県選管など21日の参院選投票まで、あ

と1週間となった14日、県選管と県明るい選挙推進協議会、福井市のエルパで買い物客に投票を呼び掛けた。県選管の金井亨委員長ら委員と、同協議会の会員ら計30人が参加した。エルパの出入り口4カ所に分かれ、投票日た。

と期日前投票所の一覧が記載されたチラシと、ウェットペーパー、風船を手渡し「来週日曜は投票日です」と声を掛けた。

敦賀市のアル・プラザ敦賀店でも13日に街頭啓発を行った。(藤野大輔)

二〇一六年の前回参院選は選挙期間が今回よりも一日長かったため、単純に比較できないが、開始から十一日間の投票者数に比べ四千二百二十四人減つたのに対し、一日当たりの平均は四十八人増となった。

投票者数は、九日までの五日間で一万七千八百三十四人。その後、平日の十一、十二日は四千五百人台で推移し、週末の十三日は六千九百八十七人、十四日は八千二百六人と伸びた。市町別では、福井市が最多の一万九千四百三十二人。越前市の四千五百八十八人、坂井市の三千九百九十六人などと続いた。

期日前投票は二十日まで。各市町の役所や役場などで原則午前八時半〜午後八時に受け付けている。(山本洋児)

投票所入場券 L G B T 配慮

全17市町 性別欄廃止や記号化

参院選

2019

今回の参院選では、県内の全17市町で、投票所入場券の性別欄をなくしたり、性別が分からないよう数字や記号で表記したりと、性的少数者(LGBT)に配慮されていることが分かった。県選管が県議会の一般質問で明らかにした。

投票所入場券には、本人確認などのために、性別欄が設けられており、これまでは「男」「女」と漢字で記載されていた。

県内では、若狭町が2012年の衆院選で初めて性別欄をなくし、その後、他の市町でも、男女を記号などに置き換える動きが広がった。今春の統一選挙までに15市町で行われるようになっていた。

県選管も今年2月、各市町に対し、県内で性別を記号化する取り組み状況などについて、周知を図ったことも、広がった一因だといふ。

期日前投票 9万7325人

15日間 福井市36%済ませる

県選管が20日発表した参院選の期日前投票状況によると、公示前日の5日から投票日2日前に当たる15日間で、9万7325人が投票した。2016年の前回参院選(投票日2日前までの16日間)を144人上回った。

投票者数の推移は、14日までの10日間は4万7528人、祝日だった15日は1万47

人、19日は1万2772人が一票を投じるなど、15日からの5日間は4万9797人が投票した。県選管は「期日前投票できる期間が迫り、投票日に用事がある人が行ったのではないかと分析している。

投票者数が前回を上回ったのは、福井、小浜、大野、越前市と高浜、おおい町の計6市町。前回より最も増えたのは小浜市で、前回比648人増の4867人。大野市は4827人で、前回より536

人増えた。投票者数全体の約36%となる3万5505人が投票を済ませた福井市は、前回比5255人増となっている。(坂野将純)

開票リハ手際よく 県選管

参院選開票(二十一日、県庁で開票結果の集計)を前に県選管は十九日リハールを行った。職員



各市町から送られてくる開票結果を審査班に配布する職員ら＝県庁で(福田正美撮影)

「美浜町投票結果フアックを前に県選管は十九日リハールを行いました。職員たちは開票当日の流れを確認し、正確な事務作業に備えていた。」

「美浜町投票結果フアック」が始まる。県内17市町から開票結果のフアックが届き始め、職員が読み上げた。県選管の職員ら22人は受け取った開票結果を確認し全県分を集計していった。県選管の小林弥生書記長は「当日はミスのないように万全の態勢を整えて取りまとめを行い、たいへん緊張を引締めました。」

県選管によると、県内の開票終了予想時刻は選挙区は午前零時、比例が翌二十二日の午前三時の見込み。(藤共生)

良識従い一票投じて 県選管 金井亨委員長

今回の選挙は、依然として厳しい社会経済情勢の中において、私たちの暮らしや今後の国政のあり方を方向づける上で極めて重要な意義を持っています。

県選管は今回の選挙では特に、県内のショッピングセンターでの街頭啓発に加え、選挙公報を活用した県内商業施設等での顔出しパネルの設置といった新たな取り組みを実施するとともに、経済団体をはじめ各種団体などに投票しやすい

期日前 11万7686人

県内 16年を1742人下回る

県選管は21日、参院選福井選挙区の期日前投票者数が11万7686人だったと発表しました。10万人は超えたものの、

2016年の前回参院選を1742人下回った。

期日前投票は公示翌日の5日から49カ所で行われた。19日までには9万7325人が投票を済ませ、最終日の20日は2万361人が一票を投じた。投票日当日有権者数に占める割合は18・19%で、前回(18・17%)を0・02ポイント上回った。

市町別に見ると、1万人を超えたのは福井、坂井、越前市。全体の約36%を占めた福井市は4万2471人。次いで坂井市(約9%)が1万837人、越前市(約8%)は1万6984人だった。(牧野将寛)

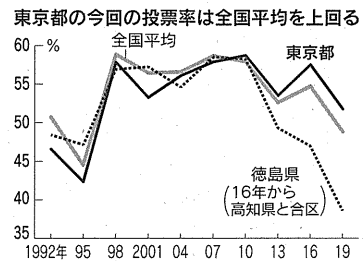
21日に投票した参院選は、47のうち46の都道府県の投票率が2016年の前回参院選を下回り、21県で過去最低となった。地域別に見ると、最低を更新したのは中部や中国九州も多い。全体の投票率が50%を割り込むのは1995年以来だ。当時が関東と都市部を中心に下がったの比べ、今回は地方で低投票率が目立つ。投票機会の確保などが課題になる。

低投票率上位の都道府県をみると、95年と今回の違いが分かる。95年は栃木、茨城、千葉の関東3県と大阪府、兵庫県を加えた5府県が並ぶ。今回は栃木が5位に入ったほかは顔ぶれが変わった。徳島、富山、青森各県など農村地域が占めた。90年代以降の東京都の投票率推移をみると、2007年までは全国平均を下回っていたが、10年に上回った。今回は6割の府県で50%を下回って

投票率最低 地方で相次ぐ

| 今回は地方の低投票率が目立った (都道府県別低投票率ランキング) | | |
|-------------------------------------|-------------|-------------|
| | 1995年 | 2019年 |
| 1位 | 栃木県 (35.94) | 徳島県 (38.59) |
| 2位 | 茨城県 (36.94) | 宮崎県 (41.79) |
| 3位 | 千葉県 (37.88) | 福岡県 (42.85) |
| 4位 | 大阪府 (38.26) | 青森県 (42.94) |
| 5位 | 兵庫県 (38.29) | 栃木県 (44.14) |

(注)カッコ内は投票率、単位は%



投票所減や合区が影響

いるにもかかわらず、東京は51・77%と全国平均を越え、50%を確保している。95年の都市部中心の低投票率は、自民党と社会党の連立と政権の枠組みの姿や、新党が相次いで発足したり消滅したりしたことで無党派層の政治不信が高まったことが理由とされた。今回は地方の人口減少という構造的な問題が絡んでいる

都市部と差

とみられる。前回の16年参院選と比べ、投票所が858カ所減った。地方で職員や立会人の確保が難しいため、投票所でも投票できなかった。00年代以降、東京都や神奈川県、大阪府などで投票所が増設される一方、平成の大合併で町村の統合が進んだ地方では効率化の観点から投票所の減少が続いている。16年参院選では今回から投票所を減らした。投票所の数を69カ所減らした。投票率は12ポイント下り、投票率は38・59%だった。徳島・高知選挙区では野党にも高知地盤の候補が立ったことが、徳島での選挙の関心低下につながるとみられる。高知も全国平均を下回った。特殊要因もあった。21日は九州の幅広い地域で大雨に見舞われ、一部で避難指示も出た。16年参院選と比べて投票率が10ポイント以上低下した5県のうち、4県が福岡や長崎など九州勢だった。九州8県のうち佐賀を除く7県で過去最低を更新した。地方で投票率が比較的高かった県は東北に多かった。全国で最も高い山形県は60・74%と全国で唯一の60%台だった。自民党の現職と野党統一候補が接戦を繰り広げ、選挙自体への関心が高まったとみられる。接戦区が多かった東北では、6県中、青森を除く5県で全国平均を上回った。

18、19歳投票率31%

総務省は23日、参院選での18、19歳の投票率(選挙区・速報値)を発表した。18歳以上初めて選挙権が適用された前回2016年よりも15・45ポイント低い31・33%だった。全体の投票率48・80%との差は17・47ポイントに広がった。10歳代が関心を持つテーマに乏しく、投票が伸びなかった。

前回比15.45低下 関心テーマ乏しく

| | 16年 | 19年 |
|-------------|-------|--------|
| 18歳 | 51.28 | 34.68 |
| 19歳 | 42.30 | 28.05 |
| 18～19歳 | 46.78 | 31.33 |
| 全体 | 54.70 | 48.80 |
| 18～19歳と全体の差 | ▲7.92 | ▲17.47 |

(注)総務省調べ、19年は抽出調査。単位%、差はポイント、▲はマイナス

総務省が全都道府県から投票率が集まった18歳以上の投票率を抽出し、有権者数1万1914人を対象に実施した。18歳と19歳を分けることで、高校生が多く学校で主権者教育を受ける機会

がある18歳は34.68%で、18歳以上選挙権が適用されたのは、17年衆院選も含めて3回目だ。衆院選は時期が予想できず、啓発などに十分な時間が取れない。今回の18、19歳投票率は17年衆院選の40・49%を下回った。



「クリーンな政治追求」 滝波氏 当選証書受け取り抱負

職の滝波宏文氏(47)への発意のために活躍し、対して、県選挙管理委員会は24日、当選証書交付式を行った。県庁で開かれた交付式には滝波氏本人が出席した。県選管の金井孝委員長(66)から、当選証書を受け取る滝波宏文氏。県選管で

参院選

1票の格差一斉提訴 最大3.00倍や縮小評価焦点

「1票の格差」が最大3・14の高裁・高裁支部に二斉提訴した。早ければ年内に各地の判決が出る。最高裁は、来年中にも統一判断を示す見込みだ。2016年の前回参院選後

山口邦明弁護士らのグループも22日、広島高裁に提訴した。いずれも、現行公選法の規定は人口に比例した定数配分を要求する憲法に違反し、選挙権の価値に不平等が生じていると主張。選挙のやり直しを求めている。

参院選の「1票の格差」を巡る全国一斉提訴で、北陸3

滝波氏は厳厲な表情で、金井委員長から当選証書を受け取った。滝波氏は「期目の抱負について、公約で掲げた通り、国政でクリーンな政治を追求したい」と語った。また、任期中に予定されている2023年春の北陸新幹線敦賀延伸開業にも言及し「財源を見つけて新大阪までの早期開業を目指す」と意欲を口にした。

回選挙では、2県を一つの選挙区に統合する「合区」が導入され、5倍前後で推移してきた格差が縮小した。最高裁は17年に「これまでにない手法を導入し、格差の是正を図った」と国会の対応を評価し「合憲」と判断した。

県(富山、石川、福井)の住民が22日、各選挙区の選挙無効を求め、名古屋高裁金沢支部に提訴した。訴状によると、議員1人当たりの有権者数は昨年9月時点で、最少の福井選挙区と比べ、石川は1.47倍、富山は1.37倍の格差があるとしている。原告代理人の小川剛樹弁護士は提訴後の記者会見で「1票の価値は平等であり、都道府県単位の選挙区割りに合理性はない。抜本的な改革をして1票の格差を是正すべきだ」と述べた。

北陸3県住民も 高裁金沢支部に 参院選の「1票の格差」を巡る全国一斉提訴で、北陸3